

自分らしく
たくましく

高等部通信



- ・豊かな感性をもち、心身共に健やかな生徒
- ・自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒
- ・お互いの良さを認め合い、共に活動する生徒
- ・働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

宮城教育大学附属特別支援学校

令和5年1月20日(金) No.24

力を合わせてよりよい卒園記念品を納品しよう!

高等部では、附属幼稚園から卒園記念品の製作を依頼されており、高等部の各作業班で分担し、製作しています。1月16日(月)は、附属幼稚園交流会のオリエンテーションを行いました。幼稚園から依頼された卒園記念品を各作業班が分担して製作していくことや、交流会当日までの作業学習の回数や会の準備の予定など、交流会のねらいと当日までの流れを確認しました。生徒は皆、附属幼稚園の園児に喜んでもらうためにどのようなことをしたらよいか、どんな内容なら喜んでもらえるかなどを考えて、交流会に向けて気持ちを一つにしました。



3班が協力しての卒業記念品作り

木工班



総合サービス業班



陶芸班



「本立て」の製作



木工班から依頼を受けて、
本立ての「やすりかけ」と
メッセージカードの製作



本立てに付ける
陶器のモチーフ

(文責:板橋 努)